

主 な 異 常 気 象

災 害 区 分 発 生 月 日	気 象 概 況
令 和 3 年 梅 雨 前 線 等 に よ る 大 雨 等 令 和 3 年 5 月 1 1 日 ～ 7 月 1 4 日	令和3年5月11日から7月14日にかけて、梅雨前線が沖縄・奄美から本州付近に停滞し、断続的に活動が活発となった。この前線の影響により、各地で大雨となった。 7月1日から3日にかけて、南西諸島に停滞していた梅雨前線が次第に北上し、西日本から東日本の太平洋側に停滞した。この影響で西日本から東日本の太平洋側を中心に雨となり、東海地方や関東甲信地方では多いところで日降水量が300ミリを超えたほか、静岡県複数の地点で72時間降水量の観測史上1位を更新する記録的な大雨となった。 7月9日から10日にかけては、梅雨前線が日本海から東日本にかけて停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が次々と流れ込み、大気の状態が不安定となった。この影響により全国的に雨となり、九州南部の多いところで総降水量が500ミリを超える記録的な大雨となった。 これらの大雨等の影響で、土砂災害、河川の氾濫、浸水害等が発生した。また、住家被害が発生し、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。
令 和 3 年 台 風 及 び 停 滞 前 線 に よ る 暴 風 ・ 大 雨 等 令 和 3 年 8 月 7 日 ～ 8 月 2 3 日	8月6日から9日にかけて台風第9号が日本に接近・上陸し、9日から10日にかけては台風第9号から変わった温帯低気圧が北日本を通過した。この影響により、全国的に雨となり、中国地方の多いところで日降水量が300ミリを、東北地方では200ミリを超える大雨となった。また、四国地方や北海道地方では風速30メートル以上の猛烈な風を観測したほか、西日本から北日本にかけて風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。 その後、8月11日から19日にかけて、前線が日本付近に停滞し、断続的に活動が活発になった。8月19日から21日にかけては、湿った空気や低気圧の影響を受けたほか、22日から26日にかけては、台風第12号が日本に接近し、その後台風から変わった温帯低気圧が北日本を通過した。特に8月11日から15日にかけては、東シナ海の前線が次第に東へのび、その後西日本から東日本に停滞し、その前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で広い範囲で大雨となった。特に九州北部地方では多いところで24時間降水量が500ミリを超え、総降水量が1000ミリを超える記録的な大雨となった。 これらの大雨等の影響で、土砂災害、河川の氾濫、浸水害等が発生した。また、住家被害が発生し、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。

○出典：令和3年度災害時自然現象報告書（気象庁）